

令和元年度 指定管理者制度導入施設の管理運営状況について

都市環境整備課

1 施設の概要等

施設名	広島県立みよし公園		
所在地	三次市四拾貫町神田谷		
設置目的	備北地域住民の文化及びスポーツと多様なレクリエーション活動の振興		
施設・設備	カルチャーセンター（アリーナ）、温水プール、パークゴルフ場、テニスコート、文化の広場、こども広場、しょうぶ園など		
指定管理者	4期目	H28. 4. 1～R3. 3. 31	ミズノグループ・星光ビル管理共同企業体
	3期目	H23. 4. 1～H28. 3. 31	ミズノグループ共同企業体
	2期目	H20. 4. 1～H23. 3. 31	ミズノグループ
	1期目	H17. 4. 1～H20. 3. 31	(株)サンアメニティ

2 施設利用状況

利用状況	年度	目標値 [事業計画]	入場者数	対前年度増減	対目標値増減 (達成率)
	4期	R1	706,000人	627,451人	△71,565人
H30		705,000人	699,016人	△8,412人	△5,984人(99.2%)
H29		704,000人	707,428人	△1,847人	3,428人(100.5%)
H28		704,000人	709,275人	27,053人	5,275人(100.7%)
	3期平均H23～H27	706,000人	682,222人	20,786人	△23,778人(96.6%)
	2期平均H20～H22	700,000人	661,436人	△4,865人	△38,564人(94.5%)
	1期平均H17～H19	762,530人	666,301人	3,368人	△96,229人(87.4%)
	H16（導入前）	—	662,933人	—	—
増減理由	○4月～6月にかけてアリーナの床の張り替え及びプールヒートポンプ更新工事により休業期間による利用者減。 ○大型遊具の使用中止期間（4月～3月）による利用者減。 ○3月7日から新型コロナウイルスによる屋内施設（カルチャーセンター・プール・トレーニング室・レストラン）閉館による利用者減。				

3 利用者ニーズの把握と対応

調査実施内容	<b>【実施方法】</b>	<b>【対象・人数】</b>
	アンケートボックス設置（常時）	施設利用者 76人
	<b>【主な意見】</b>	<b>【その対応状況】</b>
	自然散策道の一部コースがわかりにくい	令和元年度に修繕を実施。
	アリーナで靴の脱ぎ履きが面倒	床面にキズがつかない為であり、理解を求めた。
手洗い設備にお湯が出ない。	今後の検討事項とさせていただく旨を回答。	

4 県の業務点検等の状況

項目	実績	備考
報告書	年度	○ 事業報告書
	月報	○ 月次業務報告書
	日報（必要随時）	○ 事故等報告書
管理運営会議（随時）	<b>【特記事項等】</b> 各施設（建物）、設備の老朽化対策が課題 <b>【指定管理者の意見】</b> 利用者の安全確保と施設等の機能維持の観点から、維持修繕を優先順位に従い、計画的に実施する必要がある <b>【県の対応】</b> 維持修繕にあたっては、事前に県と十分協議し、連携しながら実施するよう指定管理者に指導した	
現地調査（6月、11月に実施）		

## 5 県委託料の状況

(単位：千円)

県委託料 (決算額)	年度		金額	対前年度増減	料金 収入 (決算額)	年度		金額	対前年度増減
	4期	R1	107,167	935		4期	R1	19,820	△4,992
H30		106,232	0	H30	24,812		△937		
H29		106,232	△168	H29	25,749		806		
H28		106,400	609	H28	24,943		157		
3期平均H23～H27		105,791	3,791	3期平均H23～H27		24,786	1,717		
2期平均H20～H22		102,000	△11,597	2期平均H20～H22		23,069	△2,754		
1期平均H17～H19		113,597	△18,197	1期平均H17～H19		25,823	813		
H16 (導入前)		131,794	—	H16 (導入前)		25,010	—		

## 6 管理経費の状況

(単位：千円)

項目		R1決算額	H30決算額	前年度差	主な増減理由等	
委託事業	収入	県委託料	107,167	106,232	935	下期より消費税率変更
		料金収入(※1)	19,820	24,812	△4,992	アリーナ・プール大規模修繕休業及び新型コロナウイルス感染症の流行による施設利用中止のため収入減
		その他収入	9,077	10,377	△1,300	食堂等の収入減(アリーナ・プール大規模修繕休業, 遊具閉鎖の影響)
		計(A)	136,064	141,421	△5,357	
	支出	人件費	50,446	50,375	71	
		光熱水費	27,214	28,692	△1,478	大規模修繕期間の光熱水費減
		設備等保守点検費	11,909	11,788	121	人件費の上昇
		清掃・警備費等	14,760	14,757	3	
		植栽管理	12,144	12,038	106	整備回数が増
		施設維持修繕費	629	679	△50	
事務局費		3,212	3,087	125	リース料の増	
その他		23,733	24,595	△862	収入減による本部間接費比率減 食堂等運営経費減(収入連動)	
計(B)	144,047	146,011	△1,964			
収支①(A-B)		△7,983	△4,590	△3,393		
自主事業 (※2)	収入(C)	7,364	11,033	△3,669	・修繕期間中及び新型コロナウイルス対応による自主事業収入減	
	支出(D)	5,644	7,019	△1,375	・商品売上減 ・上記理由による経費減	
	収支②(C-D)	1,720	4,014	△2,294		
合計収支(①+②)		△6,263	△576	△5,687		

※1 利用料金制：公の施設の使用料について、指定管理者が直接使用料等を収入することができる制度。指定管理者の自主的な経営努力を発揮しやすくする効果が期待され、地方公共団体及び指定管理者の会計事務の効率化が図られる。

※2 自主事業：指定管理者が自らの責任で、更なる施設サービスの向上のために提案・実施する事業

## 7 管理運営状況

項目		指定管理者 (事業計画, 主な取組, 新たな取組など)	県の評価
施設の効用發揮	○施設の設置目的に沿った業務実績	平成30年度に初開催し、好評だった「みよし青空マルシェ」を春・秋と年2回開催。合計で約4,000名の来場があり、イベントとして定着させた。	みよし青空マルシェを平成30年度から継続して開催するなど利用促進を図るとともに、多様なレクリエーション活動の振興等の施設目的に沿った事業がなされた。
	○業務の実施による、県民サービスの向上	各競技団体と連携して卓球、ミニバスケットボール大会、グラウンドゴルフ大会等多競技で大会を開催。	各競技団体と連携して独自の大会を開催し、参加者の交流の場となるなど、施設の利用促進やスポーツ振興に貢献した。
	○業務の実施による、施設の利用促進	「全国都市緑化ひろしまフェア」の期間、しょうぶ園の水不足解消に向けて、近隣住民から協力を得ることが出来た。	公園の持つ課題に対して、地域コミュニティと良好な関係を築きながら、解決を図った。
	○施設の維持管理	利用者から要望が多かったトイレの洋式化や園内案内板の改修を実施し、利用者の利便性向上を図った。	利用者の安全性及び利便性の観点から、指定管理者のノウハウを活かして施設の改修、修繕等を行った。
管理の人的物的基礎	○組織体制の見直し	顧客満足度向上への取組や普通救命講習、修繕業者と連携した防災訓練等を実施し、スタッフの能力向上を図った。	外部の専門講師による研修や社内研修を通して、スタッフの運営管理能力向上を図り適切な業務体制を維持している。
	○効率的な業務運営	プールヒートポンプの更新、空調冷温水配管の修繕により、効率的な熱源の活用につながった。	スポーツ、建物管理について共同企業体の強みやノウハウを活かした効率的な施設運営、管理を行った。
	○収支の適正	大型修繕による休業期間や新型コロナウイルスによる屋内施設の閉館もあり、収支に大きく影響した。	アリーナやプール等の修繕や新型コロナウイルス感染症による収入減はあったが、利用者の安全性を確保しつつ適正な施設管理が行われた。
総括		経年劣化や利用者ニーズへの対応及び前年度の災害復旧工事を実施し、利便性、安全性の向上につながった。  大規模修繕による休業や新型コロナウイルスによる屋内施設の閉館は収支面で甚大なマイナス要因となった。	顧客満足度向上やスポーツの振興を目的とした多彩な自主事業により利用促進に大きく貢献した。  災害時における公園施設の避難所使用についての協定締結に協力する等、公共施設としての役割向上に貢献した。

## 8 今後の方向性（課題と対応）

項目	指定管理者	県
短期的な対応 (令和2年度)	○全国都市緑化フェアひろしま協賛会場として施設のPRやイベント実施による利用者の増加を図る。  ○新設を予定しているクライミングウォールの有効活用を図る。	○施設全体の老朽化による設備等不具合について利用者の安全確保を最優先に、指定管理者と連携しながら対応する。  ○新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を適切に講じる。
中期的な対応	長期修繕計画に沿った施設の老朽化への継続的な対応、園内照明のLED化、しょうぶ園の水不足改善等が必要。	長期修繕計画に基づき、施設設備の修繕等を実施し、効率的な施設維持管理に努める。